

「新・やまがた農業人」紹介



柳生圭祐さん・早苗さん夫妻 白鷹町で就農

【出身地】神奈川県

【家族】5人(夫婦・子供3人)

【就農年度】平成15年度(平成14年度、1年間の研修後独立)

【経営概要】中玉トマト 17a(ハウス)、ミニトマト 500坪(ハウス)
露地キュウリ 30a

山形県での就農の動機や考え方

母親の実家が上山市であることなども考慮して、山形県に来ました。

農業をやりたいと思ったらあきらめないことです。そして、まず、今の仕事(就農前の仕事)を大切にすることです。本気で就農するにはお金がかかります。現在の仕事でより成果を上げて、少しでも多くの蓄えをするなどの心構えが大事です。

また、家族の賛成が必要です。家族の同意なしで農業をやることは難しいと思います。就農に向けて言えることは、「構想は高く、計画は悲観的に、実行は楽天的に行うこと」です。

農業の喜びは収穫ではなく、『出荷』です。生産したものを売って、初めてお金になるのです。農業はお金を得るのに時間がかかります。

就農して、子どもから「ここでの生活は楽しい」と言ってもらってホッとしています。